

新型コロナウイルスに関する対応について(お知らせ)

岩城少年自然の家

令和2年9月1日より、1泊2日までの宿泊利用を再開します。宿泊利用にあたっては、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを減らしつつ、利用者の皆様が安心してご利用いただけるよう、次のように対応することになりました。利用者の皆様には大変ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

【利用団体へのお願い】

1 受入条件について

- (1) 1日あたり1団体、または50人までの受入を目安とします。ただし、各団体の事情に応じて対応しますので、ご相談ください。
- (2) 利用時間は、日帰りが10時から15時を、1泊2日が13時から翌日9時を目安とします(野外炊飯を希望する場合は10時より入所可能です)。個別の都合については別途ご相談ください。

2 入所前について

- (1) 入所する2週間前から、利用予定者に対する毎朝の検温及び風邪症状の確認などの健康観察を徹底してください。入所当日朝までの間に発熱や咳、倦怠感、味覚・嗅覚の異常等の症状を呈した方のご利用はお控えくださるようお願いいたします。
- (2) 利用団体ごとに体温計をご持参ください。消毒用アルコールやハンドソープ等も可能な限りご持参ください(当施設でも共用部分等に設置しておりますが、量に限りがありますので、ご協力願います)。
- (3) 来所者全員の名簿(「しおり」など、氏名及び宿泊時の利用部屋が明記されているもの)の提出をお願いいたします。ウイルスの潜伏期間を考慮し、退所後2週間保管させていただきます。
- (4) 緊急車両を各団体でご用意ください。
- (5) マスク、うがい用のコップ、手洗い後に使うハンカチ等を利用者各自で持参するようにしてください。
- (6) 貸切バス等で来所する際は、こまめな休憩や換気を心がけるなど、3つの密を避けるための配慮をお願いいたします(帰路についても同様の配慮をお願いいたします)。

3 施設利用中について

- (1) 利用者全員のマスク着用にご協力願います(原則、食事及び入浴、就寝時以外は着用をお願いいたします)。
- (2) 健康観察をこまめに実施していただき、2の(1)で示した症状がみられた方については、途中帰宅等の対応をお願いいたします。
- (3) 各活動後は、手洗いとうがいの徹底をお願いいたします。
- (4) 食事前は、手洗いの徹底をお願いいたします。手洗い後、持参されたペーパータオル等での手の拭き取りにご協力願います(使用したペーパータオルはこちらで処分します)。
- (5) 感染リスクが高いことを考慮し、食事中の飲用水の提供を中止しております。熱中症対策の観点からも、飲み物の持参や購入(事前申込)をご検討ください。
- (6) 研修室等を利用する場合は、こまめな換気にご協力願います。
- (7) 宿泊室使用后、利用したベッド周辺の消毒作業にご協力願います。ペーパータオルに消毒用アルコールを染み込ませて用いるか除菌シートなどをご準備ください。また、宿泊室の畳は、各部屋に備え付けの雑巾で水拭きしていただきますので、併せてご協力願います。

4 施設利用後について

- 利用者が2の(1)で示した症状により医療機関を受診した場合は、速やかに当施設までお知らせください。

【当施設の取組】

- 1 他団体との接触が生じないように、可能な限り日程や活動場所の調整を図ります。
- 2 スタッフは、毎朝の検温及び風邪症状等の確認を自ら徹底するとともに、活動時はマスクを着用します。
- 3 各利用団体をご持参いただくものとは別に、手指消毒液を玄関や共用部分等に設置します。
- 4 定期的に共用部分の窓を開放し、換気を行います（晴天時は、常時窓を開放します）。
- 5 食事について
 - (1) 食堂では、一列に並んで入り、カウンターから自分の分を持って座席に座っていただきます。
 - (2) 食事の前後は、テーブル等の消毒を行います。
 - (3) 「野外炊飯」は、感染リスクが高い活動であることを考慮して、飯ごう炊飯のみ（メニューはカレーライス）とさせていただきます。炊き上がったご飯にかけるカレーについては、館内厨房で調理したものを提供させていただきます。
- 6 諸活動に関して
 - (1) つどいやオリエンテーション等を行う際には、参加者の間隔を十分にあげるとともに、できるだけ短時間でを行うようにします。
 - (2) 多くの利用者が触れる場所や共有の教具等の消毒を適切に行います。
 - (3) 活動プログラムについては、「活動できるメニュー」を参考に、事前に団体の代表の方とプログラム内容を相談し、活動中もできるだけ密着しないように配慮しながら実施します。